

2021年8月30日

調査室

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 27,000~28,000円 TOPIX 1,880~1,970

\* 期待材料 自民党新総裁誕生への期待 経済対策の実施 新型コロナワクチンへの期待

\* 不安材料 自民党支持率低下への懸念 米国のテーパリング開始懸念

新型コロナの感染拡大や半導体など部材調達難の影響、中国株の下落、米国のテーパリング開始懸念など日本株に対する悪材料が山積し、8月20日に日経平均株価は年初来安値を更新した。ただ、悪材料ばかりではなく、足元で2点新たな好材料が出現したので紹介したい。まず1点目は22日に行われた横浜市長選で菅首相が支援した小此木氏が野党候補に敗れたことで、衆議院の解散総選挙の前に、自民党総裁選が実施されることが決まった点だ。菅首相のまま衆院選となった場合、菅内閣の低支持率を考慮すると、自民党は大敗し日本株浮揚のきっかけがつかめない状況が続くことが懸念される。しかし、自民党総裁選で新総裁を選出し、間髪入れずに解散総選挙に持ち込めば、自民党は大きく議席を減らすことはないものと思われ、政局の安定を好感し外国人投資家の見直し買いが入ることが期待される。2点目は、新型コロナワクチンの効果が日本でも大変良好だということだ。大阪府が18日発表した調査結果によると、6月1日~8月15日の間に新型コロナに新規感染した人は累計で32,740人だったが、この中で新型コロナワクチンを2回接種した人は303人となり、ワクチン接種完了者の感染率はわずか0.9%にとどまった。加えて、303人の中で重症化や死亡に至ったケースはゼロだったとしている。菅政権は9月末には日本の人口の約6割がワクチンの2回の接種を完了するとしており、10月頃には新規感染者数、重症者数ともに増加がかなり抑制されている状況になることが期待される。足元の日本株はまだ悪材料を消化する段階にあり上値は重い、好材料はまだ織り込まれておらず、むしろ投資の好機とも捉えられる局面にあると思われる。

今週は米中で景況感や雇用など、景気動向をうかがう上で重要な経済指標の発表が多く予定されている。なかでも、3日の米雇用統計が良好な内容となり、テーパリングの早期開始観測が高まる場合には長期金利が上昇し、株価や物価動向の行方に与える影響が大きくなるものと思われ注目したい。(8月26日現在、松本 直志)

## 今週の予定

|             | 国内  | 海外  |
|-------------|---|---|
| 8/30<br>(月) | 7月小売業販売額(前年同月比)(8:50)<br>ダイドーGHD(2590)2Q決算              | [印]休場<br>[英]休場  |
| 31(火)       | 7月失業率(8:30)<br>7月鉱工業生産(8:50)                            | [中]8月製造業、非製造業PMI(10:00)<br>[米]8月消費者信頼感指数(23:00)                       |
| 9/1<br>(水)  | デジタル庁発足見通し<br>防災の日<br>伊藤園(2593)1Q決算                     | [中]8月財新製造業PMI(10:45)<br>[米]8月ADP雇用統計(21:15)<br>[米]8月ISM製造業景況指数(23:00) |
| 2(木)        | アインHD(9627)1Q決算   | [米]7月貿易収支(21:30)  |
| 3(金)        | 日本認知科学会(~5日)<br>日本駐車場開発(2353)本決算<br>ロック・フィールド(2910)1Q決算 | [中]8月財新サービス業PMI(10:45)<br>[米]8月雇用統計(21:30)<br>[米]8月ISM非製造業景況指数(23:00) |
| 4(土)        | 和漢医薬学会(~5日)   | [アルゼンチン]移民の日  |
| 5(日)        | 東京2020パラリンピック競技大会閉会式                                    | 香港立法会選挙   |

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 **タダノ (6395)** 東証1部



|        | 20年03月期<br>(百万円) | 前年比    | 21年03月期<br>(百万円) | 前年比    | 22年03月期(予)<br>(百万円) | 前年比   | 株価(8/26)<br>業種 | 1,195 円<br>機械 |
|--------|------------------|--------|------------------|--------|---------------------|-------|----------------|---------------|
| 売上収益   | 227,949          | 21.0%  | 186,040          | -18.4% | 215,000             | 15.6% | 時価総額           | 1,548 億円      |
| 営業利益   | 13,949           | -11.9% | -4,196           | -      | 4,200               | -     | PER(予想)        | 14.40 倍       |
| 経常利益   | 13,791           | -11.6% | -4,683           | -      | 3,400               | -     | PBR(実績)        | 0.97 倍        |
| 当期純利益  | 6,433            | -43.9% | -12,987          | -      | 10,500              | -     | ROE(実績)        | - %           |
| EPS(円) | 50.8             | -      | -102.53          | -      | 82.88               | -     | 配当利回り(予想)      | 0.58 %        |
| 配当金(円) | 28               | -      | 3                | -      | 7                   | -     | 担当             | 多功 毅          |

出所：業績に関する数値は決算短信より

香川県高松市に本社を置く世界的な建設用クレーンの大手企業。オールテレーンクレーン、ラフテレーンクレーン、クローラクレーン、トラッククレーンといった自走式のクレーンの他、高所作業車などの製品を有する。21年3月期における製品別売上高構成比は建設用クレーン59%、車両搭載型クレーン10%、高所作業車10%、その他21%であり、地域別売上高構成比は日本50%、北米19%、欧州15%、アジア6%、中東3%、中南米2%、その他5%となっている。

21年3月期決算は、コロナ禍での建設工事遅延などによる需要減退の影響が大きく、前年同期比18.4%減収、4,196百万円の営業赤字と低迷した。今期は、欧米での経済対策の効果や原油価格回復を受けた中東での需要回復、欧州子会社の生産統合や人員削減による合理化効果などを見込み15.6%増収、4,200百万円の営業黒字を計画している。1Q(4-6月)決算は、欧米需要の回復の遅れから前年同期比2.1%減収となったが、コスト削減が寄与したことで791百万円の営業黒字(前期598百万円の赤字)となった。1Qの原価率改善及び販管費圧縮が想定を上回って推移していることから、2Q累計の営業利益を1,500百万円へ1,000百万円上方修正している。

丸紅の産業機械関連事業の出身で19年にタダノに入社した氏家氏が、本年4月に社長に就任。創業家の多田野家以外では初の社長となる。社長就任後に発表した新中期経営計画では、買収した欧州子会社製品のブランドを「TADANO」に統一することや、社外取締役の増員、女性役員の就任などを打ち出し、24年3月期に売上高2,750億円、営業利益275億円を目指すとしている。積極的な海外展開、買収した欧州子会社が有する風力発電建設などに使われる超大型クレーンの拡販、タダノが強みを持つアフターサービス事業の海外展開などが今後の事業拡大の柱となる。長期的な目標として、(移動機能付)抗重力・空間作業機械で世界No.1を目指している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

| 銘柄<br>(コード)<br>市場<br>株価(8/26)              | コメント   |
|--|--|
| <b>そーせい</b><br>(4565)<br>東証マザーズ<br>1,741円  | 21年12月期2Q累計(1-6月)決算は24.1%増収、営業損益は18.5億円に赤字拡大、最終損益は23.0億円に赤字拡大した。ファイザー社など5社から進捗マイルストーンを受取ったことで増収となったが、統合失調症など神経疾患の治療剤であるムスカリン作動薬の研究開発費が増額したことで赤字拡大となった。ムスカリン作動薬の導出(他社への金銭授受を含む提供)が決まれば、22年4月から開始される東証プライムに適合する可能性があり、年度内の導出を期待したい。(志田 憲太郎)                              |
| <b>ダイキン</b><br>(6367)<br>東証1部<br>26,745円   | 22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比37.4%増収、営業利益は2倍。コロナ禍で業務用空調の回復は遅れているが、先進国を中心に住宅用空調が好調に推移していることで、四半期で過去最高業績。2Q以降は期初の計画を据え置いたうえで、1Qが想定を上回ったことを踏まえ通期業績計画を12.7%増収、21.5%営業増益に上方修正。2Q以降は期初想定以上に原材料高、物流費上昇の影響を受ける見込みであるが、これを拡販、売価アップで吸収するとしている。(多功 毅)                                    |
| <b>アルバック</b><br>(6728)<br>東証1部<br>5,850円   | 21年6月期通期決算は前年同期比1.3%減収、7.8%営業増益、受注は27.0%増加。新規参入のEUV分野が好調な半導体や中国を中心としたパワー半導体、5G通信向け電子部品、有機EL、液晶などディスプレイ向け製造装置の需要が好調で会社計画を上振れて着地。モノづくり強化の取り組みが奏功し売上高総利益率が改善したことも貢献。今期も半導体や電子部品、FPD関連がけん引し前年同期比14.7%増収、54.1%営業増益、受注は15.6%増を計画している。(松本 直志)                                 |
| <b>アドバンテスト</b><br>(6857)<br>東証1部<br>9,220円 | 22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比45.5%増収、94.1%営業増益、受注が2.6倍に膨らみ通期計画を上方修正。半導体不足に伴う生産能力増強やスマホ、PC、AI、データセンター用サーバーなど高性能コンピューター向け先端半導体投資の活発化がけん引し、主力の半導体検査装置の需要が増加。性能アップのため半導体の構造が複雑化しテストにかかる時間が増える傾向にあり、検査装置の需要は今後も拡大することが見込まれる。(松本 直志)  |
| <b>島津製作所</b><br>(7701)<br>東証1部<br>4,855円   | 22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比17.6%増収、営業利益は2.1倍、最終利益は2.1倍だった。併せて通期見通しを上方修正した。1Qとして売上、利益ともに過去最高を更新した。前年同期に防衛関連の大口案件あった反動に加え航空機向けが停滞したが、計測機器、医用機器、産業機器が増収増益となった。PCR関連事業も需要継続。通期では病院向け医用機器の回復遅延懸念はあるが、半導体向けで高水準の設備投資需要に加え、計測器はグローバルで需要が拡大していく見通し。売上、利益ともに2期連続の過去最高業績を見込む。(志田 憲太郎) |
| <b>三菱商事</b><br>(8058)<br>東証1部<br>3,273円    | 22年3月期1Q(4-6月)純利益は1,876億円、通期計画3,800億円に対する進捗率は49.4%。1Qは、銅、鉄鉱石事業の持ち分利益、アジア自動車事業、サーモン養殖事業、ファンド評価益などが全体の利益をけん引している。会社側は、通期計画は上振れる可能性が高いと想定しているが、新型コロナの感染拡大による影響や資源市況の動向を見極める必要があることから期初計画を据え置いたとしている。(多功 毅)  |

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

|       |                |           |  |
|-------|----------------|-----------|--|
| 本店営業部 | (03) 3668-5412 | 〒103-0026 | 中央区日本橋兜町 1-8                           |
| 金町支店  | (03) 3600-6681 | 〒125-0041 | 葛飾区東金町 1-22-9                          |
| 高円寺支店 | (03) 3311-1171 | 〒166-0003 | 杉並区高円寺南 3-58-25                        |
| 大岡山支店 | (03) 5754-5523 | 〒145-0062 | 大田区北千束 3-28-1<br>パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F |
| 巣鴨支店  | (03) 3918-6311 | 〒170-0002 | 豊島区巣鴨 3-33-2                           |
| 上板橋支店 | (03) 3935-0311 | 〒174-0071 | 板橋区常盤台 4-22-12                         |
| 深川支店  | (03) 5600-7891 | 〒135-0005 | 江東区高橋 11-1                             |
| 茂原支店  | (0475) 25-1151 | 〒297-0023 | 茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F              |



## ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

## ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室